

令和7年度第2回 北海道立女性プラザ運営協議会 開催結果

1 日時

令和8年3月19日（木） 13:30～14:40

2 開催場所

かでの2・7 610会議室

3 出席者

(1) 委員

芦名沢委員、大島委員、繁富委員、幡生委員、降幡委員、矢野根委員、柚原委員

(2) 事務局

笹谷館長、近藤副館長、五木谷、加津

(3) オブザーバー

北海道環境生活くらし安全局女性支援室 米山主幹、梅田係長

4 議題

- (1) 令和7年度事業実施状況について
- (2) 令和7年度図書及びDVDソフトの購入状況について
- (3) 令和8年度事業計画（概要）

5 主な意見

（男性職員を対象とする研修に関する意向調査について）

○男性職員を対象とする働き方改革やアンコンシャスバイアスなどに関する研修の実施状況についての意向調査については、回答数が少なかったとのことだが、そのことも含め企業の現状を表しているともいえるので、HPで公表することが望ましい。また、継続して調査することで企業の考え方の変化を確認することができるのではないか。

（男性のための電話相談について）

○これまで20回実施した中で17件というのは、初年度としては予想したよりは多かったといえるのではないかな。

○具体的な内容としては、妻によるDVなど夫婦関係の相談のほか、自分の性癖に関する悩みの相談が多くなっている。これまでは同じ人が何回もかけてくるということはほとんどない。

○この取組については、まずは事業の存在を知っていただくことが重要。道の協力をいただいて商業施設などの男性トイレに啓発用のシールを貼付する取組を始めたところ。

○男性はなかなか相談しない傾向にあるが、相談できる場所があることは重要

（交流フロアの活用について）

○交流フロアは、基本的に自由に利用できる場所であり、イベントスペースではないが、コロナ前には子育て支援や健康増進などの取組を行っている団体に利用していただいていた。コロナ後には利用が減少していたところであり、今年度からHPやインスタなどによる情報発信を強化している。

○例えば、今年度から始まった「ピーチカフェ」は、毎月1回開催することとして、年度初めに利用計画を立てて対応しており、定期的な利用も可能

○飲食の提供については、その場で調理することなどは難しいが、例えば、「ピーチカフェ」の場合は、ポットに淹れたコーヒーと軽食（シフォンケーキ等）を有料で提供している。

（男性の意識改革について）

○男性に対する啓発はハードルが高く、男性参画講座については、皆さんからのご意見を踏まえ、男性だけではなく、パートナーも一緒に参加できるような形を心掛けているが、なかなか参加の増加には結びついていない現状にある。

○「産前産後のりきりセミナー」は、夫婦そろって参加できる取組であるが、札幌市以外で実施するためには地域における受け皿が必要であり、現状では難しいと感じている。

○パパ支援は、制度的なアプローチは行政が主体であるが、結局は働いている職場が許容するかどうかということが問題であり、個人的には興味があっても実現できるかという、自分の職場ではできないということになってしまう。

○イクボスの取組に関して言うと、取組を応援することにより生産性が下がるという企業側の懸念にどう対応するか、バックアップできるかが重要

○男性の意識を変えるための取組については、増加している意識の高い個人をネットワークしていくことが課題であり、具体的なケーススタディをオープンにしていくことが重要

○自分はもともと女性の支援という視点で取り組んできたが、女性に対する支援だけでは無理だということに気づいていて、経営層の方に向けた女性管理職の育成のための研修などを行っているが、経営者の中にはどうしたいのかという考え方が明確でなかったり、直接的に成果を求める傾向が強い場合がある。

（女性の起業支援について）

○起業を考えている女性に対する支援について、北海道の場合、エリアが広いために、例えば札幌市や函館市などの都市部に情報が偏っていることがあり、地域に住んでいても情報を入手できたり、相談できるよう、バーチャルな交流の場を設けることができればよいのではないかと。

（女性プラザの取組の認知拡大について）

○女性プラザでは、セミナーや講演会といった啓発を行っているが、例えば、プラザを飛び出して、チカホで小さなブースを設けて女性の起業支援や男性の介護についてのイベントを行うなど、もっと一般の人の目に触れる機会を設けてはどうか。